



アニプロのHPはコチラ



一般社団法人アニプロ代表理事  
(神奈川県動物愛護推進員)  
原 奈弓 さん

県西地域を拠点に、飼育放棄された犬猫の保護や介護をするケアハウスを運営

### 保健所での出来事

犬がほしくて、何の気なしに保健所に行ったのがはじまりです。「1匹を指さして」「この仔をください」と伝えたら、「すでに殺処分が決まっています」と言われ、ショックを受けました。何とかできないかと食いがかりでしたが、譲り受けるにはボランティアとしての登録が必要だということが分かり、それが活動のきっかけになりました。

### アニプロの活動

飼育放棄された犬猫などを引き取り、新たな飼い主へ渡るまで保護しています。無事に譲渡できる件数も多くあり

命の受け皿として  
皆さんには「県での殺処分が0」「立派なセンターができて良かった」で、思考をストップしてほしくない。センターや私たちが引き取っている犬

動物ではなく、人間の問題  
犬や猫との生活は本当に素晴らしいですが、かけがえのないものがかります。責任をもって飼える自信がない人は、最初から飼わないのが正しい選択。すでに飼っている場合であれば、しつけや去勢・避妊をすることはもちろん、脱走しない環境をつくることも重要です。



犬がほしくて、何の気なしに保健所に行ったのがはじまりです。「1匹を指さして」「この仔をください」と伝えたら、「すでに殺処分が決まっています」と言われ、ショックを受けました。何とかできないかと食いがかりでしたが、譲り受けるにはボランティアとしての登録が必要だということ



## 《特集》 犬の命、猫の命



人間ともっとも関わりが深い動物、犬と猫。私たちに寄り添い、喜びや癒しを与えてくれる大切なパートナーです。動物愛護月間である9月、彼らの命について、今一度考えてみませんか？

☎ 環境上下水道課 ☎84-0314

### 犬と猫の幸せのために

動物愛護の意識の高まりなどにより、犬猫の保護件数は年々減少傾向にあります。

しかし、保護された犬猫のうち、令和2年度に殺処分された犬は全国で5,635匹、猫は27,108匹と、いまだに多くの命が失われているのが現実です。

全ての犬や猫が、不幸な死に怯えることのない未来がわずかに見えてきた今、私たち一人ひとりに何ができるのかが問われています。

### 神奈川県 の状況

県では、平成26年度から犬猫の殺処分0を維持しています。令和元年には、「動物を処分するための施設」ではなく、「生かすための施設」として、新たに神奈川県動物愛護センター(以下、「センター」)が誕生しました。

特集では、神奈川県での殺処分0を守り、ひとつでも多くの命を救うため、それぞれの立場から行動する人々の姿をお届けします。

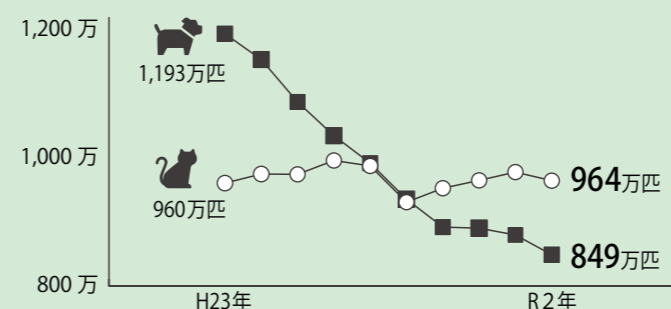
### 飼育数の推移

犬猫いずれも、全体の飼育数は減少又は横ばいの状況が続いています。

平成27年前後には、かつては圧倒的に多かった犬の飼育数を、猫が上回りました。これは、居住環境の変化などの原因が挙げられます。

直近の傾向としては、コロナ禍で在宅時間が増えたことなどが影響し、犬猫ともに新規の飼育開始の件数が増加しています。

### 《過去10年間の推移》



※一般社団法人ペットフード協会『全国犬猫飼育実態調査』から作成

### 寿命とお金の話

飼育環境の改善などにより、犬猫の平均寿命はひと昔前と比べて飛躍的に伸びています。ペットの命が尽きるまで責任をもって飼うためにも、知っておきたいのがお金の話。例えば、外に出る猫は、出ない猫と比べて寿命が3年ほど短いのに、費用が多かります。これは家の外で病気になるリスクが高いため、種類だけでなく、飼育状況によって費用が大きく変わることを示しています。

### 《一生にかかる平均費用》

飼育形態	平均費用
全体平均	124万円
外に出ない猫	126万円
外に出る猫	128万円
全体平均	207万円
超小型犬	217万円
中型・大型犬	232万円

※出典は右頁に同じ

### 《平均寿命》

飼育形態	平均寿命
全体平均	15.45歳
外に出ない猫	16.13歳
外に出る猫	13.57歳
全体平均	14.48歳
超小型犬	15.19歳
中型・大型犬	13.60歳